

入場無料/FREE

International Conference & Exhibition

# Techno-Ocean2023

海をいかす～Sustainable Utilization of Ocean～

10月5日(木),6日(金),7日(土)

9:00～17:00 10:00～17:00 10:00～16:00

October 5(Thu.),6(Fri.),7(Sat.)

9:00～17:00 10:00～17:00 10:00～16:00

神戸国際展示場 2号館

Kobe International Exhibition Hall No. 2

<主催>

テクノオーシャン・ネットワーク

<Organizer>

Techno-Ocean Network

<共催>

国立研究開発法人海洋研究開発機構  
独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構  
国立研究開発法人 海洋・港湾・航空技術研究所  
神戸市  
一般財団法人 神戸観光局

<Co-Organizers>

Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology  
Japan Organization for Metals and Energy Security  
National Institute of Maritime, Port and Aviation Technology  
Kobe City  
Kobe Tourism Bureau

URL:<https://to2023.techno-ocean.com/>



## 海洋に関する幅広い分野の産学官関係者が『神戸』に集結！

- |      |             |         |      |        |    |         |        |      |        |        |     |     |
|------|-------------|---------|------|--------|----|---------|--------|------|--------|--------|-----|-----|
| 出展分野 | 海洋再生可能エネルギー | 調査・観測探査 | 通信IT | 港湾海洋土木 | 水産 | 環境・気象災害 | 船舶船用機器 | SDGs | 環境保護保全 | 大学研究機関 | 官公庁 | その他 |
|------|-------------|---------|------|--------|----|---------|--------|------|--------|--------|-----|-----|

海洋科学技術に関する総合展示会を「ビジネスマッチング」「ネットワーキング構築」「最新の情報収集」などにご活用ください!!

## ～注目のトピックスを集めた【特別セミナー】初開催～ First [special seminar] featuring hot topics!

講演日時	講演タイトル	講演者
10月5日(木) 12:50～13:20	“Shaping Connected Future” 「海上通信が拓く未来の形」	INMARSAT (インマルサット) Mr. GERT-JAN PANKEN VICE PRESIDENT, DIRECT SALES
10月5日(木) 14:00～14:30	「洋上風力の案件形成を促進 ～日本版セントラル方式とJOGMECの役割～」	独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) 洋上風力事業部 企画課 主任 谷田 春香 氏
10月5日(木) 15:10～15:40	「大規模潮流発電の実証と地域共生の取組みについて」	九電みらいエナジー株式会社 事業企画本部 地域コミュニケーション部 課長 山本 弘子 氏
10月6日(金) 10:30～11:00	深田サルベージ建設の業務概要及び洋上風力向けサービスの提供について	深田サルベージ建設株式会社 東京支社 洋上風力プロジェクト部 部長代理 池信 勝之 氏
10月6日(金) 11:40～12:10	洋上風力発電の普及拡大に向けたNEDOの取組み	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 新エネルギー部 風力・海洋グループ 主査 三枝 俊介 氏
10月6日(金) 13:10～13:40	防衛装備庁における研究開発	防衛装備庁 技術戦略部技術戦略課 課長 藤井 圭介 氏
10月6日(金) 14:40～15:10	「総合重工の造船事業再編」	日本海事新聞社 編集部記者 五味 宜範 氏

※内容は変更になる場合があります。

お問合せ Techno-Ocean 2023 実行委員会事務局 TEL:(078)303-0029 E-mail:ex-techno-ocean@kcva.or.jp  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 (一財)神戸観光局内



## 出展者一覧(50音順)

株式会社 I H I	神戸市水産会/一般財団法人神戸農政公社	神戸市立栽培漁業センター	東洋建設株式会社
株式会社アイエスイー	国立大学法人 神戸大学大学院海事科学研究科	神戸市立栽培漁業センター	株式会社東陽テクニカ
あおみ建設株式会社	神戸マリンネットワーク(神戸市海洋産業ネットワーク)	神戸市立栽培漁業センター	株式会社 トーハク
株式会社アクアサウンド	広和株式会社	神戸市立栽培漁業センター	株式会社中橋製作所
株式会社AquaFusion	五洋建設株式会社	神戸市立栽培漁業センター	株式会社 西村商会
ACTUNI株式会社	ザイレムジャパン株式会社	神戸市立栽培漁業センター	日油技研工業株式会社
浅野金属工業株式会社	J F E アドバンテック株式会社	神戸市立栽培漁業センター	日本特殊陶業株式会社
いであ株式会社	JSAT MOBILE Communications株式会社	神戸市立栽培漁業センター	日本大学 海洋建築工学科 海洋空間利用工学研究室
株式会社エイ・アイ・エス	静岡市海洋産業クラスター協議会	神戸市立栽培漁業センター	Nauti-Craft Ltd
栄臨建設株式会社	株式会社SIX VOICE	神戸市立栽培漁業センター	Nortekジャパン合同会社
株式会社エス・イー・エイ	ジビル調査設計株式会社	神戸市立栽培漁業センター	株式会社ハイドロシステム開発
NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社島津製作所	神戸市立栽培漁業センター	パシフィックソフトウエア開発株式会社
公立大学法人 大阪公立大学	株式会社ジュピターコーポレーション	神戸市立栽培漁業センター	原田産業株式会社
大阪湾広域臨海環境整備センター	株式会社 昌新	神戸市立栽培漁業センター	阪神国際港湾株式会社
株式会社OKIコムエコーズ	株式会社商船三井	神戸市立栽培漁業センター	ビジオテックス株式会社/チェサピークテクノロジー
株式会社折兼	昭和飛行機工業株式会社	神戸市立栽培漁業センター	ヒョウゴベンダ 海洋水産技術研究所
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所	新明和工業株式会社	神戸市立栽培漁業センター	深田サルベージ建設株式会社
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	新和工業株式会社	神戸市立栽培漁業センター	株式会社ブルーオーシャン研究所
海上保安庁海洋情報部	公益社団法人瀬戸内海環境保全協会 /	神戸市立栽培漁業センター	防衛装備庁
国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	公益財団法人国際エモックスセンター	神戸市立栽培漁業センター	Mywayプラス株式会社
加藤精工株式会社	株式会社スペースエンターテインメントラボラトリー	神戸市立栽培漁業センター	マリメックス・ジャパン株式会社
Canopy Blue	株式会社セシルリサーチ	神戸市立栽培漁業センター	株式会社 マリン・ワーク・ジャパン
川崎重工株式会社	ダイトロン株式会社	神戸市立栽培漁業センター	一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
株式会社 K A N S O テクノス	タキオニッシュホールディングス株式会社	神戸市立栽培漁業センター	ミサゴ株式会社
株式会社キュー・アイ	中央開発株式会社	神戸市立栽培漁業センター	株式会社 ミツ星
国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所	株式会社テックラボ	神戸市立栽培漁業センター	みらい建設工業株式会社
グレンエア	東亜建設工業株式会社	神戸市立栽培漁業センター	理研電具製造株式会社
KDDIスマートドローン株式会社	東京海洋大学 三次元重心検知研究室	神戸市立栽培漁業センター	りんかい日産建設株式会社
神戸市企画調整局	株式会社東京久栄	神戸市立栽培漁業センター	若築建設株式会社
神戸市 港湾局	東京大学生産技術研究所 海中観測実装工学研究センター	神戸市立栽培漁業センター	

## Exhibitors (Alphabetical order)

Acquisition, Technology and Logistics Agency (ATLA)	Nakahashi Manufacturing Co., Ltd.
ACTUNI Co.,Ltd.	National Maritime Research Institute, National Institute of Maritime, Port and Aviation Technology
AIS Co., Ltd.	Nauti-Craft Ltd
AOMI CONSTRUCTION CO.,LTD.	NIgK Corporation
AquaFusion.Inc	NISHIMURASYOKAI CO.,LTD.
AquaSound Inc.	Niterra Co., Ltd.
Asano Metal Industry Co., Ltd.	Nortek Japan G.K.
Blue Ocean Institute Co.,Ltd.	NTT Communications Corporation
Canopy Blue	OKI Com-Echoes Co.,Ltd.
Center for Integrated Underwater Observation Technology, Institute of Industrial Science, The University of Tokyo	Orikane co.,Ltd
Chuo Kaihatsu Corporation	Osaka Bay Regional Offshore Environmental Improvement Center
Daitron Co.,Ltd.	Osaka Metropolitan University
EIRIN CONSTRUCTION CO.,LTD.	OSAKA TOHAKU CO.,LTD JAPAN
FUKADA SALVAGE & MARINE WORKS CO.,LTD.	OSU Laboratory, Dept. of Oceanic Architecture and Engineering, Nihon University
Glenair	Pacific Software Development Co., Ltd.
HARADA CORPORATION	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO.,LTD.
Hydro Systems Development, Inc.	Planning and Coordination Bureau, Kobe City Government
Hydrographic and Oceanographic Department, Japan Coast Guard	Port and Airport Research Institute, National Institute of Maritime, Port and Aviation Technology
Hyogo Bender Institute For The Oceans And Fisheries	Port and Harbor Bureau of Kobe City Government
IDEA Consultants, Inc.	Q-I INCORPORATED
IHI Corporation	RIKEN DENGU SEIZO CO.,LTD.
ISE Co.,Ltd.	RINKAI NISSAN CONSTRUCTION CO.,LTD.
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology (JAMSTEC)	Science Engineering Associates Corporation
JFE Advantech Co., Ltd.	Sessile Research Corporation
JSAT MOBILE Communications Inc.	Shimadzu Corporation
Jupiter Corporation	ShinMaywa Industries.Ltd.
KANSO Technos CO., LTD.	SHINWA INDUSTRIAL CO., LTD.
KATO SEIKO CO., LTD.	Shoshin Corporation
Kawasaki Heavy Industries, Ltd.	Showa Aircraft Industry Co.,LTD
KDDI SmartDrone Inc.	SIX VOICE, Inc.
Kobe Marine Network (Kobe Marine Industry Network)	Space Entertainment Laboratory
Kobe Research and Engineering Office for Port and Airport, Kinki Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism	Tachyonish Holdings co. ltd.
KOBE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MARITIME SCIENCES	Techlab Co., Ltd
Kobe-Osaka International Port Corporation	The Association for Environmental Conservation of The Seto Inland Sea / International EMECS Center
KOWA CORPORATION	The Kobe City Fisheries Association/KOBE MUNICIPAL MARICULTURE CENTER
Laboratory of Detection of Three-Dimensional Center of Gravity	TOA CORPORATION
Marimex Japan K.K.	Tokyo Kyuei Co.,Ltd.
Marine Industry Cluster Council of Shizuoka City	TOYO CONSTRUCTION CO.,LTD.
Marine Open Innovation Institute	TOYO Corporation
Marine Works Japan Ltd.	Viziotex Corporation/Chesapeake Technology, Inc.
MIRAI CONSTRUCTION CO., LTD.	WAKACHIKU CONSTRUCTION CO., LTD.
Misago Co., Ltd.	Xylem Japan K.K.
MITSUBOSHI CO.,LTD.	Zivil Survey Design Co., Ltd.
Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.	
Myway Plus Corporation	

# 出展者プレゼンテーション



出展企業・団体が最新の製品や技術について発表します！

場所：展示会場内オーシャンデッキ

月 日	時 間	出展者名	プレゼンテーションタイトル
10月5日(木)	10:10~10:30	東京海洋大学 三次元重心検知研究室	三次元重心検知理論に基づく転覆予知波高計
	10:30~10:50	パシフィックソフトウェア開発株式会社	「SeaVision ～海洋土木高度情報技術サービス～」
	10:50~11:10	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所	海上技術安全研究所における海洋の開発の核としての再生可能エネルギーと海洋無人機
	11:10~11:30	株式会社アイエスイー	海洋モニタリングシステム「うみログ」の紹介と活用方法
	11:30~11:50	株式会社アクアサウンド	沿岸域における海中サウンドスケープ観測システムの開発に関する基礎研究
	11:50~12:10	KDDIスマートドローン株式会社	水空合体ドローンで広がる水中点検の新しいカタチ
	12:10~12:30	株式会社AquaFusion	「水中可視化システムMagicシリーズの紹介」
	12:30~12:50	浅野金属工業株式会社	浅野金属工業のものづくりー確かな技術で、ステンレスと共に
	13:20~13:40	深田サルベージ建設株式会社	海洋開発分野における深海機器のこれまでの活用と将来～ROV、AUV、BMS～
	13:40~14:00	株式会社東陽テクニカ	新たなカテゴリーとなる最新型マルチビームソナーの紹介
	14:30~14:50	株式会社ブルーオーシャン研究所	みちびき準天頂衛星を活用したセンサーレス海象モニタリング
	14:50~15:10	ミサゴ株式会社	ブルーエコノミー、無限の海洋熱エネルギーで海洋センサーに電力供給
	15:40~16:00	株式会社スペースエンターテインメントラボラトリー	海洋観測に応用可能な飛行艇型無人機ハマドリシリーズのご紹介
	16:00~16:20	株式会社セシルリサーチ	超高輝度「藍色LED灯」で、あらゆる汚損生物の付着繁殖をグリーンに抑制！
16:20~16:40	株式会社昌新	株式会社昌新 ～ 海洋への取り組みと製品群について	
10月6日(金)	10:10~10:30	中央開発株式会社	洋上風力発電事業における地盤調査
	11:00~11:20	株式会社商船三井	ゼロエミッションの実現に向けた、商船三井の技術開発
	11:20~11:40	Nortekジャパン合同会社	水中ドローンの新たな味方ー手のひらサイズのナビゲーションセンサーが海中作業を支援
	12:10~12:30	一般財団法人マリンオープンイノベーション機構	海の恵みを社会へ 未来へ ～マリンオープンイノベーション機構の取組み～
	12:30~12:50	ACTUNI株式会社	鋼矢板の検査時間を短縮！非接触型鋼板腐食検査器「SPEC-01」の紹介
	12:50~13:10	日本特殊陶業株式会社	日本特殊陶業の挑戦 ～センシング技術で船舶業界の脱炭素に貢献～
	13:40~14:00	株式会社ソニック	高精度CTDセンサー:SONIC 5EL-CTD
	14:00~14:20	株式会社ハイドロシステム開発	無人調査のための水中ロボットの紹介
	14:20~14:40	静岡県 海洋産業クラスター協議会	静岡県「海洋実証フィールド」の取組み
	15:10~15:30	NTTコミュニケーションズ株式会社	養殖業スマート化の取組みについて
	15:30~15:50	J F E アドバンテック株式会社	ワイパーとUV照射のハイブリッド技術による生物付着防止強化
	15:50~16:10	Mywayプラス株式会社	電力システム試験に新たな海風を！Mywayプラスより製品のご紹介
	16:10~16:30	株式会社島津製作所	光無線が実現する水中のIoT化
	10月7日(土)	10:30~10:50	株式会社エイ・アイ・エス
10:50~11:10		株式会社東京久栄	調査・点検用水上スライダーHy-CaTの紹介とUSVへの期待
11:10~11:30		ジビル調査設計株式会社	陸上から行う岸壁等点検支援ロボット 視る・診る
11:30~11:50		株式会社マリン・ワーク・ジャパン	株式会社マリン・ワーク・ジャパンのご紹介
12:10~12:30		株式会社SIX VOICE	BlueROV2の自動航行化技術のご紹介
12:30~12:50		国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	世界に貢献できる技術を目指して
12:50~13:10		いであ株式会社	ホバリング型AUV「YOUZAN」のご紹介
13:10~13:30		Canopy Blue	西豪州沿岸部に於ける藻場再生事業について
13:30~13:50	海上保安庁海洋情報部	海上保安庁 ～測量船「平洋」をみにいこう！～	

※スケジュール・タイトルは変更になる場合があります。

# 展示会入場方法 (スムーズな入場のためにも来場者事前登録を推奨します)

## 来場者事前登録

### 事前登録のメリット

1 Techno-Ocean2023 WEBサイトより来場者登録してください。



【メリット1】  
並ばずに  
入場できる

2 「Mypage」から入館証を  
プリントアウトしてください。  
(カラー印刷にご協力ください)



【メリット2】  
シンポジウム(有料)  
への参加申し込み  
ができる。

3 入館証(プリント)を  
会場へお持ちください。



【メリット3】  
連絡先を含む出席  
者情報の閲覧が  
できる。

4 QRコードをリーダーに  
かざしてご入場ください。



または

### 本招待券を持参

1 会場受付にて本招待状と  
お名刺2枚ご持参ください。



2 会場受付にて本招待状と  
お名刺2枚ご持参ください。  
※シンポジウムへのご参加は会場  
で別途登録が必要となります。

## Techno-Ocean 2023 パネルセッション

「海のSDGs」を総合テーマに、6つのトピックスについて、産学官の第一線でご活躍の方々によるパネルディスカッションを開催!

- (1) 海運からのカーボンニュートラル
  - (2) 海を拓く海洋ロボティクス
  - (3) 持続可能性に配慮した養殖業の新たな展開
  - (4) 日本の洋上風力発電マーケット
  - (5) 自律運航船がもたらす海事イノベーション
  - (6) 環境に配慮した海底鉱物資源の開発を目指して (ファーストムーバーは深海底か EEZ/大陸棚か)
- ※参加登録料25,000円が別途必要となります。(事前登録の場合)

## 同時開催事業 (参加費無料)

### ◆水中ロボット競技会

【日 時】10月7日(土) 9:45~16:00  
【会 場】神戸市立ポートアイランドスポーツセンター  
【部 門】AUV部門、ジュニア部門、フリースタイル部門  
【U R L】<http://ton23.underwaterrobonet.org/>  
【運 営】Techno-Ocean2023水中ロボット競技会



前回の水中ロボット競技会の様子



出典:「海上保安庁」

### ◆海上保安庁 測量船「平洋」の一般公開

国内初の船内見学

【日 時】10月7日(土) 11:00~16:00 (最終入場15:30)  
【整理券配布】「Techno-Ocean 2023」会場内特設デスク  
10:00~(先着順)  
【船内見学場所】神戸ポートターミナル(無料シャトルバスあり)  
【U R L】<https://heiyouippan.peatix.com>  
【注意事項】

※詳しくは上記ホームページを必ずご確認ください。  
※混雑状況等により最終入場を早く終了させていただく場合があります。  
※「Techno-Ocean 2023」会場にて整理券を受け取ってください。  
※神戸ポートターミナルに直接行っても船内見学にご参加いただけませんのでご注意ください。  
※船内の構造上、車イスやお一人で歩行できない方はご参加いただけません。

## 会場へのアクセス Access to Kobe

